

スポンサー契約17社

協賛金目標5億円にめど



2017
冬季アジア
札幌大会

来年2月に札幌、帯広両市で開かれる冬季アジア札幌大会で、大会運営を支えるスポンサーシップ契約を結んだのは、これまでに17社に上る。スポンサーから大会組織委員会(事務局・札幌市)に支払われる協賛金の目標額5億円にもめどがたった。ただ、大会の開催経費が見込みより増えており、組織委は引き続きスポンサーや寄付金を募っている。

スポンサーは各契約カテゴリーごとに、組織委から発注される業務を独占的に受注できる強みがある。例えばセコム、総合警備保障の両社が会場警備を行ったり、セイコーホールディングス

グスが競技のタイムやリザルト処理を担ったりする。大会を通じたスポーツ振興など社会貢献の目的もある。一方の組織委は、各スボ

●冬季アジア札幌大会のスポンサー一覧

締結日	企業名	契約カテゴリー
1月15日	イー・シー・プロ(札幌)	通訳・翻訳
2月1日	北海道新聞社(札幌)	新聞
3月9日	東京海上日動火災保険(東京)	損害保険
6月20日	北海道ガス(札幌)	ガス・エネルギー供給
7月1日	NTT東日本(東京)	情報通信サービス・モバイル通信端末
	NTTドコモ(東京)	情報通信サービス・モバイル通信端末
7月5日	ミズノ(大阪)	スポーツウェアなど
8月8日	カナモト(札幌)	建機レンタル
8月18日	アクティオ(東京)	建機レンタル
8月26日	加森観光(札幌)	スキー場、リゾート施設
	札幌ばんけい(札幌)	スキー場、リゾート施設
8月30日	セコム(東京)	警備業務
9月1日	全日本空輸(東京)	旅客、貨物航空輸送
	日本航空(東京)	旅客、貨物航空輸送
9月2日	富士ゼロックス北海道(札幌)	複合機
9月7日	総合警備保障(東京)	警備業務
9月8日	セイコーホールディングス(東京)	計測、リザルト処理

ンサー企業がCMやポスターに大会ロゴマークを入れることで、大会PRにつながるかと期待する。それぞれの協賛金の額は公表していない。

アジア大会の開催経費は、札幌市が招致時に試算した35億円から63億4千万

円に増えた。協賛金で見込んだ5億円は確保できる見通したが、組織委は今後もスポンサー、寄付金を募る一方、経費削減にも取り組む。

アジア大会は31万国・地域の約2千人が参加する見込み。(相川康暁)